

# 「2021年下期の回顧と 2022年の展望」

1. **ブラジル経済動向**
2. **銀行業界動向**
3. **保険業界動向**

# 1. ブラジル経済動向

## 2021年の回顧

- インフレ継続、経済活動の低迷
- 金融政策、政治の先行き不透明感の拡大

### ブラジル国内

- 干ばつ（農作物収穫減、電力不足）
- 供給制約（生産部品不足）
- ワクチン購入を巡る汚職問題
- ボルソナロ大統領とSTF対立

### ブラジル国外

- 米国の早期金融緩和縮小
- 中国恒大集団社のデフォルト懸念拡大

## 2022年の展望

- ディスインフレ、景気の先行き期待を下支え
- 大統領選を控え、財政懸念が再燃？

### ブラジル国内

- 実質金利が上昇  
（Selic引上げ+ディスインフレ）
- 大統領選  
（第1次：10月2日、第2次：10月30日）

### ブラジル国外

- 米国の早期利上げ開始
- 地政学的リスクの高まり（ロシア・中国）
- 米国中間選挙

# 主要マクロ経済指標の推移と予測

金融部会

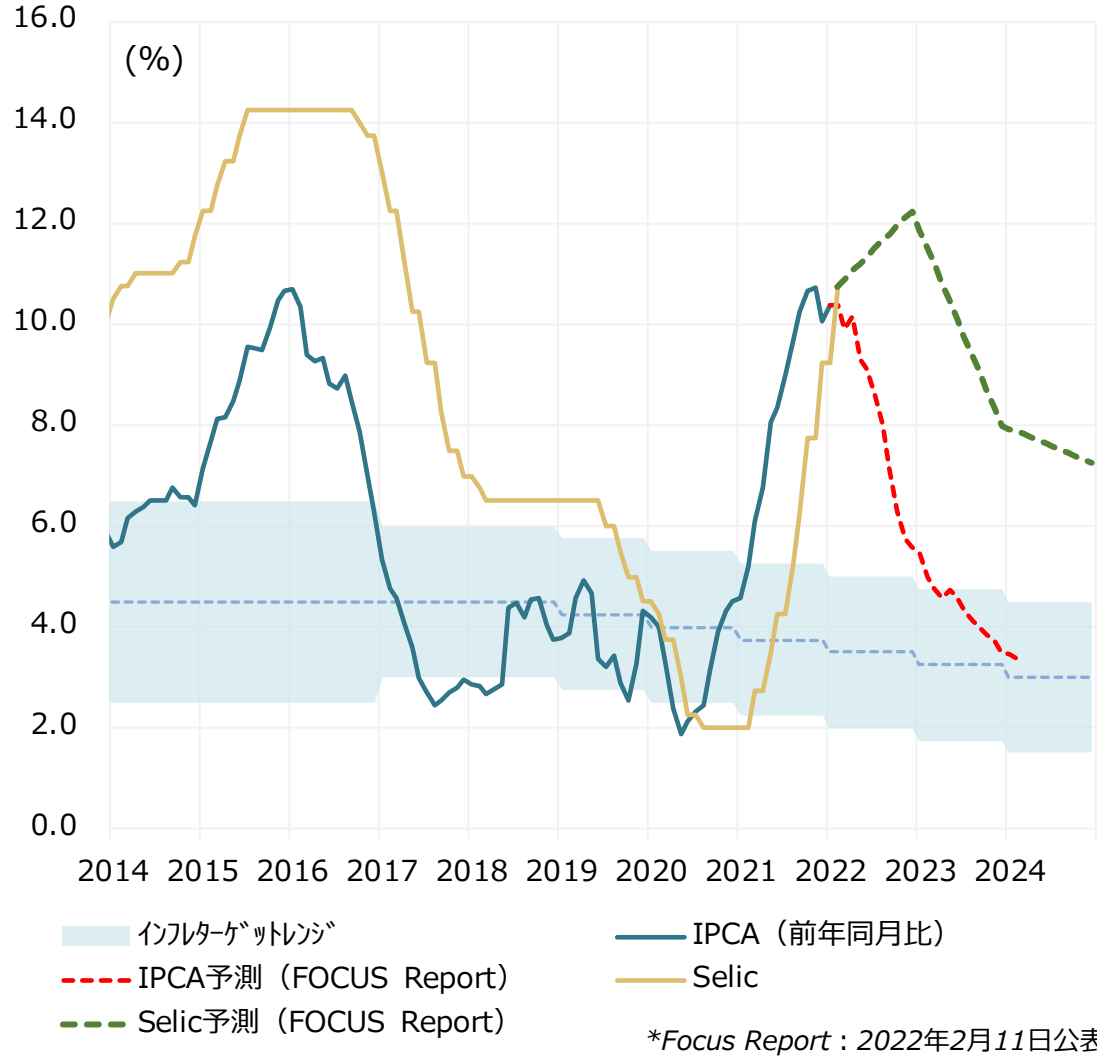
	単位	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022予測 **	備考	出所
実質GDP	%	0.54	▲ 3.54	▲ 3.27	1.32	1.79	1.22	▲ 3.87	4.50*	0.30		IBGE
名目GDP	10億BRL	5,779	5,996	6,269	6,585	7,004	7,407	7,468	-	-		IBGE
鉱工業生産指数	%	▲ 3.0	▲ 8.3	▲ 6.4	2.5	1.0	▲ 1.1	▲ 4.5	3.9	-	年初来、数量	IBGE
IPCAインフレ率	%	6.41	10.67	6.29	2.95	3.75	4.31	4.52	10.06	5.50	前年比	IBGE
失業率	%	6.6	9.1	12.2	11.9	11.7	11.1	14.2	11.6	-	期末値	IBGE
小売売上高	%	2.2	▲ 4.3	▲ 6.2	2.1	2.3	1.8	1.2	1.4	-	年初来	IBGE
貿易収支	10億USD	▲ 9.90	13.68	40.20	56.04	46.57	35.20	50.39	61.22	58.40		経済省
基礎的財政収支	10億BRL	▲ 23.5	▲ 120.5	▲ 161.3	▲ 124.3	▲ 120.2	▲ 95.1	▲ 743.3	▲ 35.1	-		財務省
公的部門債務	%	56.3	65.5	69.8	73.7	75.3	74.4	88.6	80.3	-	GDP比	BCB
Selicレート	%	11.75	14.25	13.75	7.00	6.50	4.50	2.00	9.25	12.25	期末値	BCB
USDBRL	BRL/1USD	2.66	3.96	3.25	3.31	3.87	4.03	5.20	5.58	5.58	期末値	Bloomberg
ボバスパ指数	Point	50,007.40	43,350.0	60,227.3	76,402.1	87,887.3	115,645.3	119,017.2	104,822.4	-	期末値	Bloomberg

予測はBCBのFocus Reportより抜粋

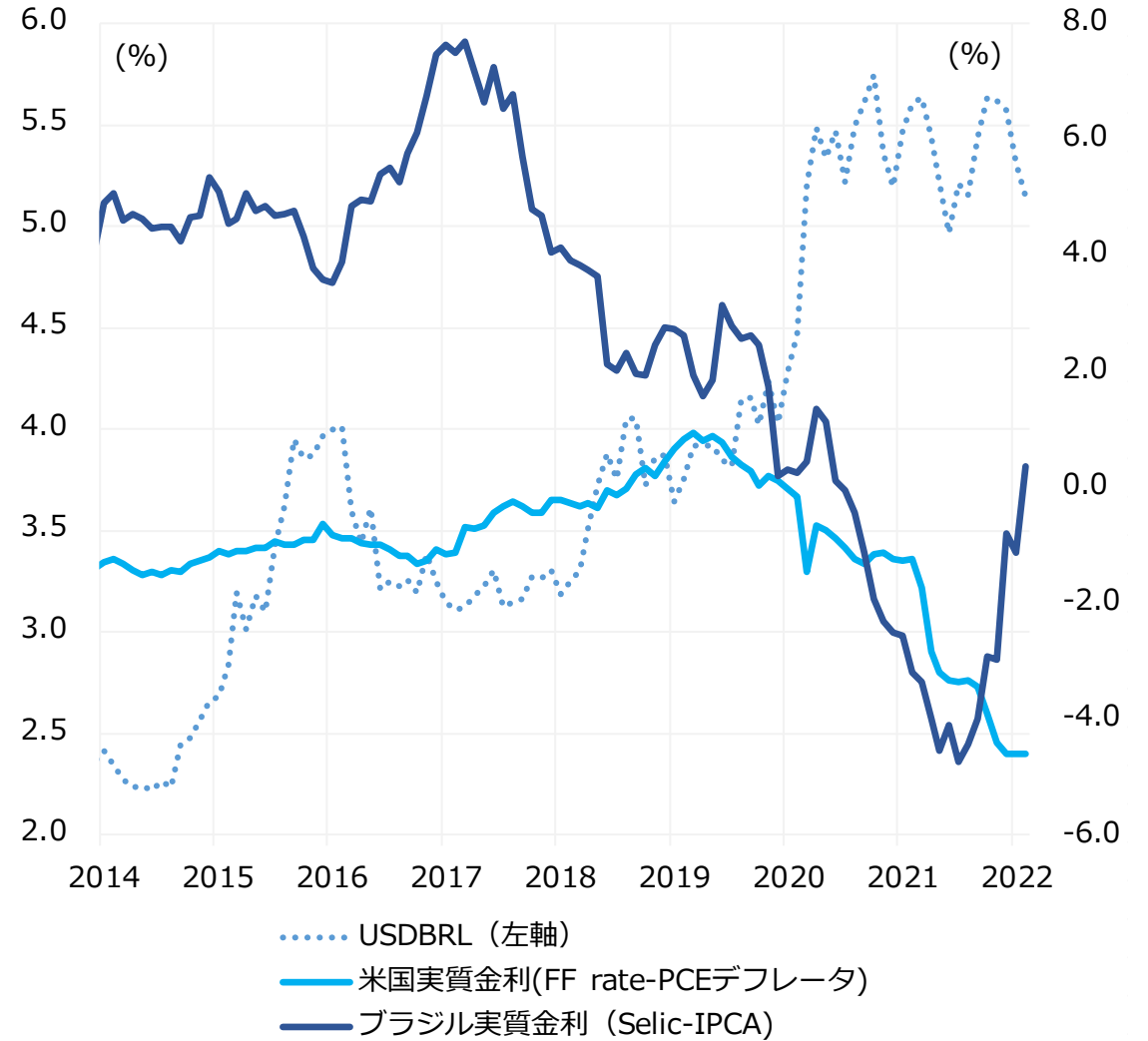
\* 2021年12月31日公表

\*\* 2022年2月11日公表

## インフレ・Selicレート見通し

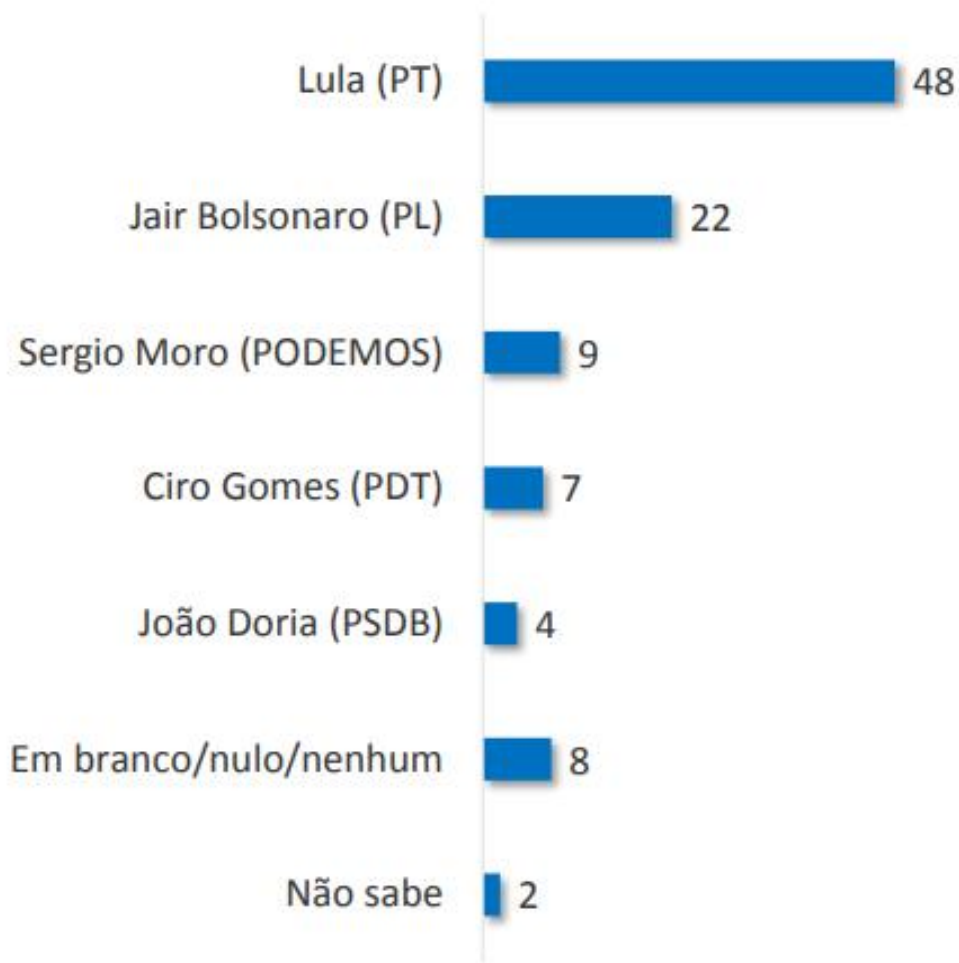


## 実質金利・為替推移



出所： Bloomberg、BCBデータを基に算出

## 世論調査（12月）



出所： Datafolha、各種報道

## スケジュール

4月2日	（現職の政治家が選挙に出馬する場合）現職辞任期限
4月5日	候補者の所属政党決定期限 政党が擁立する候補者の登録期限（TSE宛）
8月5日	党大会開催により、候補者選出最終日
<b>8月15日</b>	<b>立候補届出期限（TSE宛）</b>
8月16日	有料選挙宣伝開始（インターネットを含むメディア）
8月26日	第1次選挙のラジオ、テレビの無料選挙放送開始（～9月29日）
<b>10月2日</b>	<b>第1次選挙</b> <b>（得票率50%未満の場合、上位2名で第2次選挙へ）</b>
10月3日	メディアでの有償選挙宣伝開始（～10月27日）
10月7日	第2次選挙のラジオ、テレビの無料選挙放送開始（～10月28日）
<b>10月30日</b>	<b>第2次選挙</b>
12月19日	選挙結果の公式発表
2023年 1月2日	新大統領就任式

## 2. 銀行業界動向



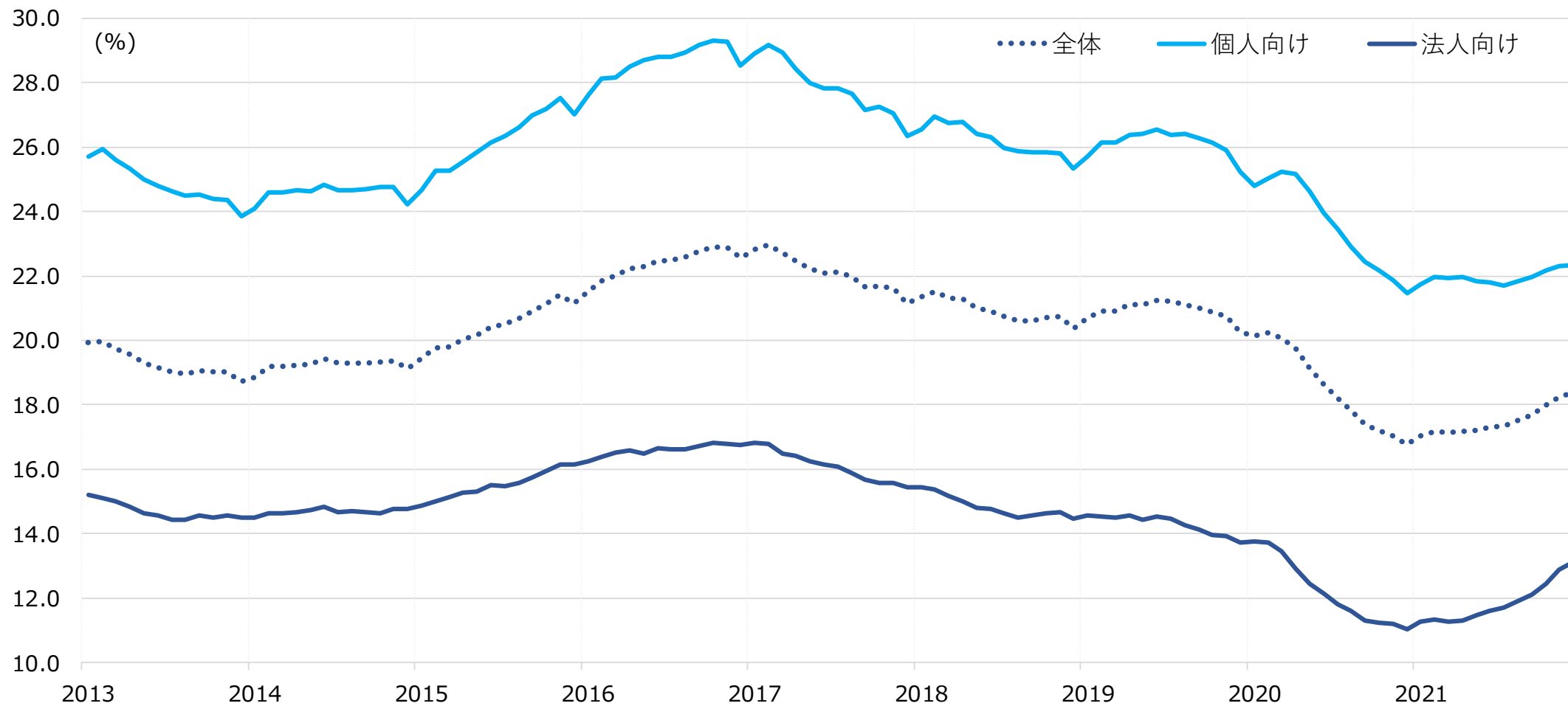
# 貸出残高推移

金融部会

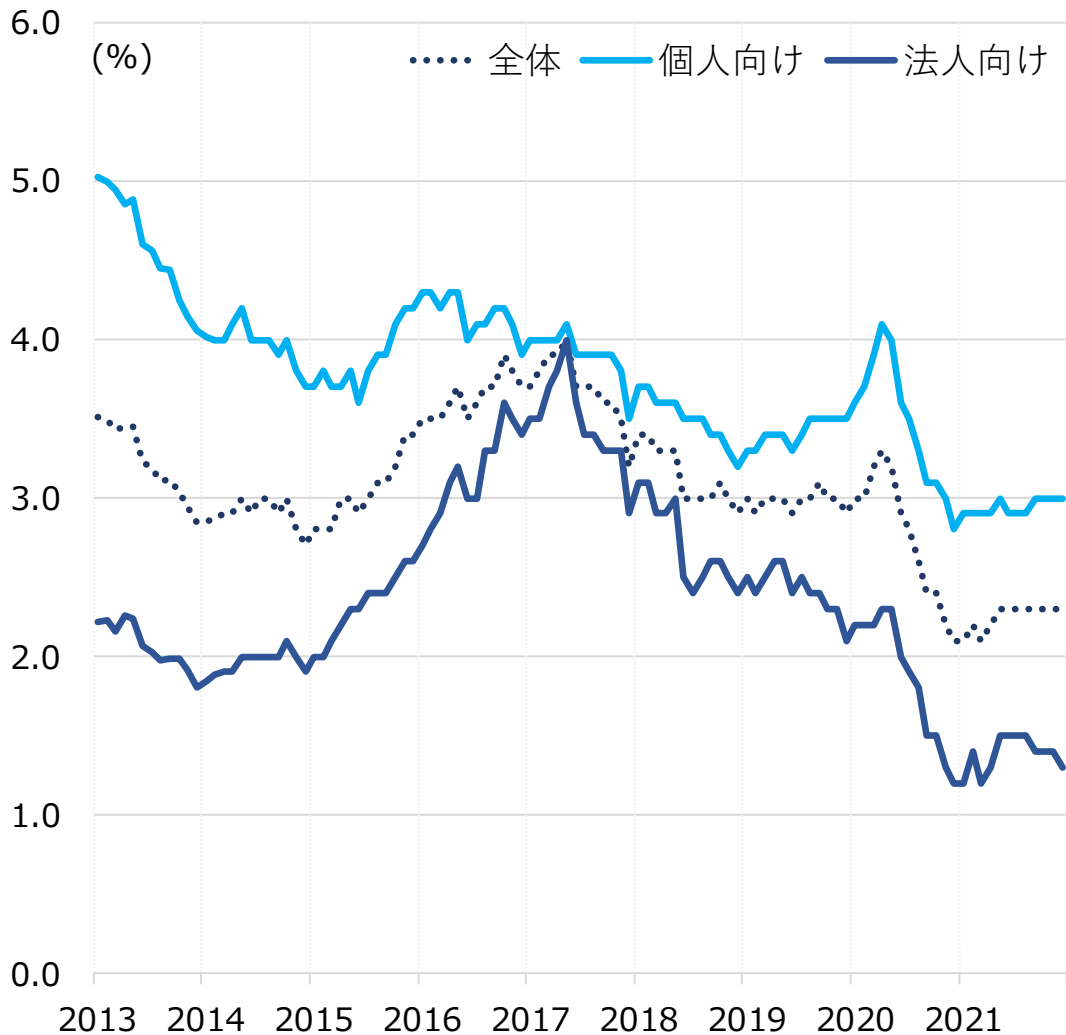
(単位：10億リアル)

		2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021
貸出残高合計		3,017	3,230	3,118	3,105	3,265	3,477	4,021	4,684
前年比 %		11.3	7.0	▲ 3.5	▲ 0.4	5.1	6.5	15.6	16.5
	個人向け	1,416	1,519	1,569	1,660	1,803	2,017	2,242	2,708
		前年比 %	13.3	7.3	3.3	5.8	8.6	11.9	11.2
	法人向け	1,394	1,447	1,310	1,223	1,245	1,265	1,556	1,773
		前年比 %	6.3	3.8	▲ 9.5	▲ 6.7	1.9	1.6	23.0
	農業	28	30	28	26	27	27	34	40
		前年比 %	4.1	3.9	▲ 3.9	▲ 7.7	4.6	▲ 1.2	23.7
	工業他	790	849	767	693	666	615	727	768
		前年比 %	11.6	7.4	▲ 9.6	▲ 9.7	▲ 3.9	▲ 7.6	18.1
	サービス業	753	797	726	704	747	805	1,018	1,156
		前年比 %	9.8	5.8	▲ 8.9	▲ 3.1	6.2	7.8	26.5

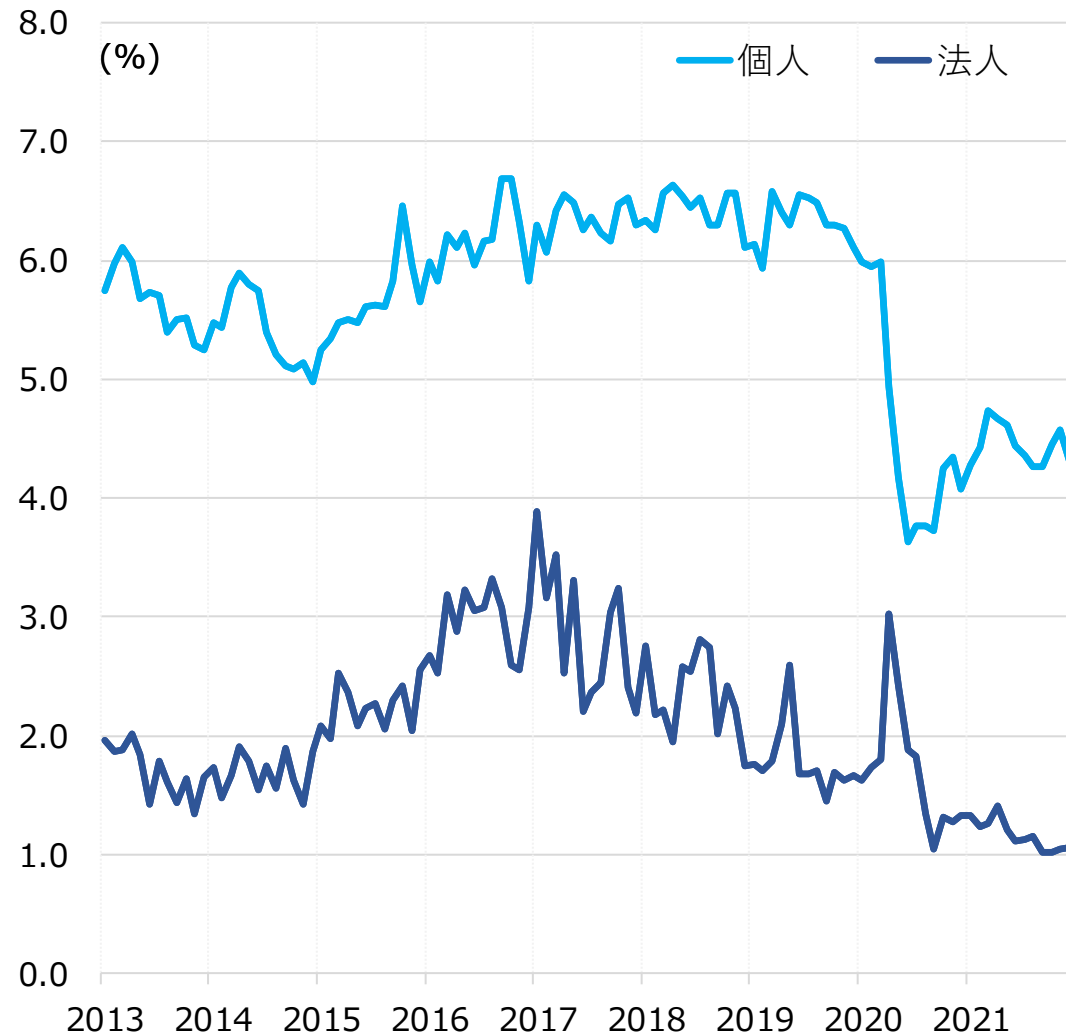
出所： BCB



## 不良債権 対総貸出比

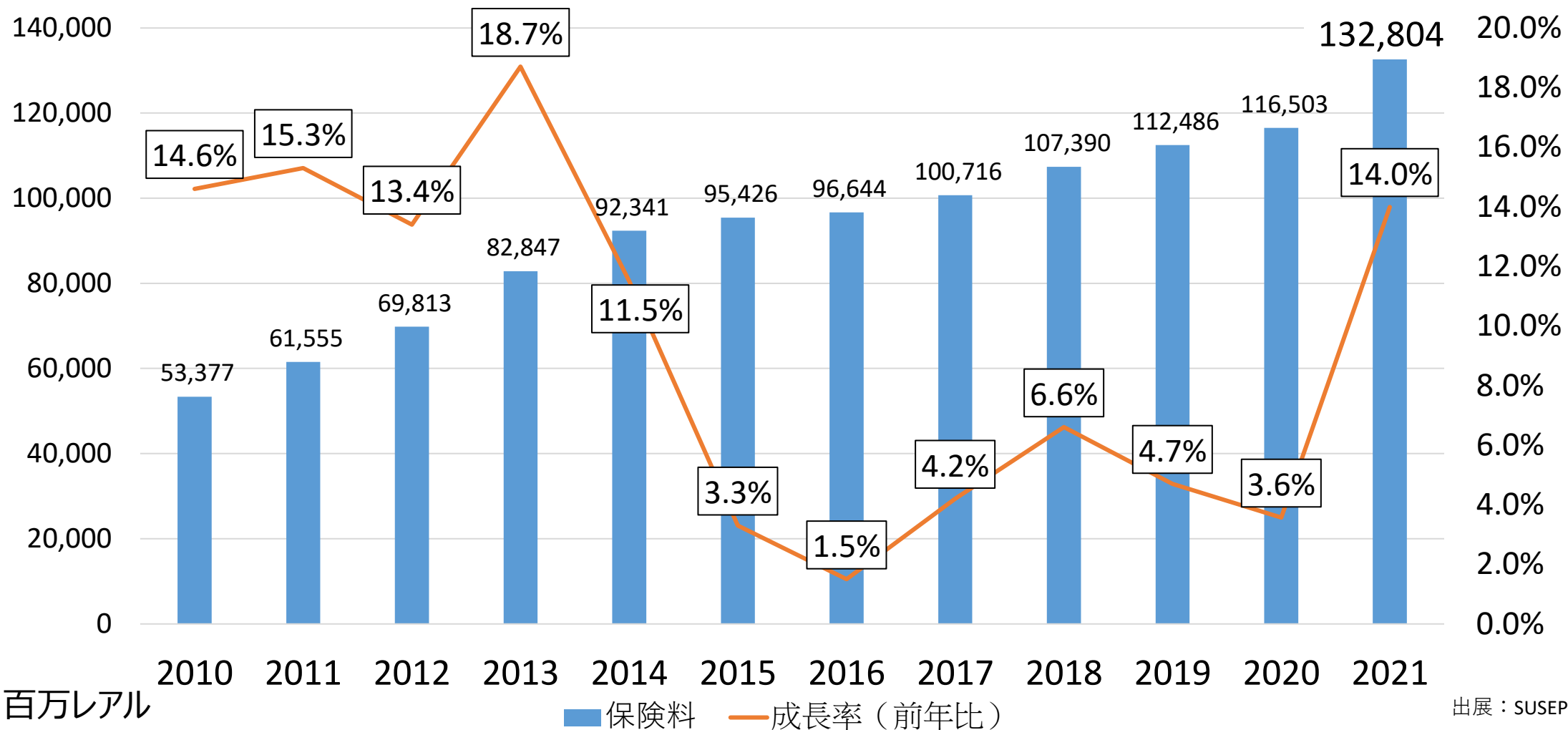


## 延滞率(15-90日)

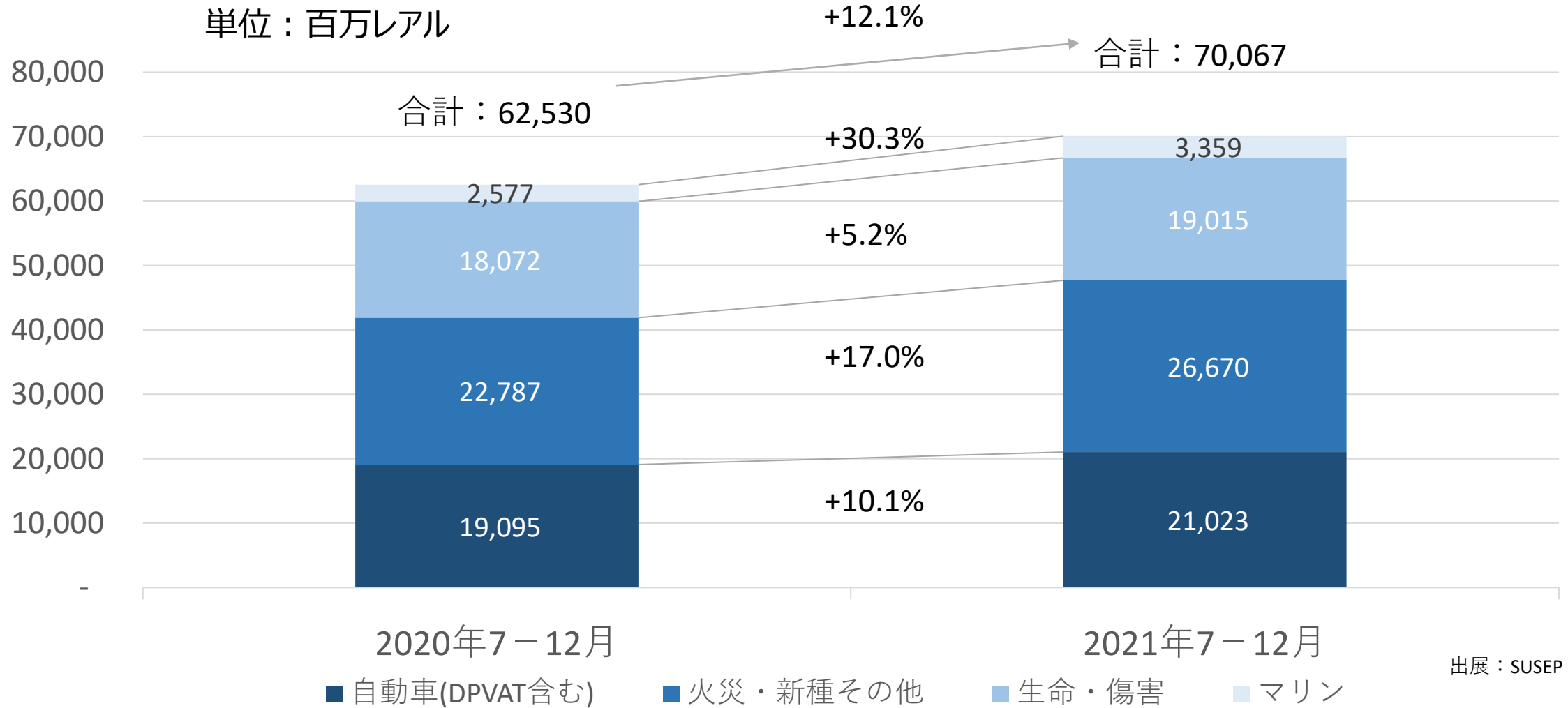


### 3. 保険業界動向

# 保険料収入推移 (除く年金、健康保険)



2021年の保険料は前年比14.0%増加し、2014年以来6年ぶりに10%超の成長率を記録した。

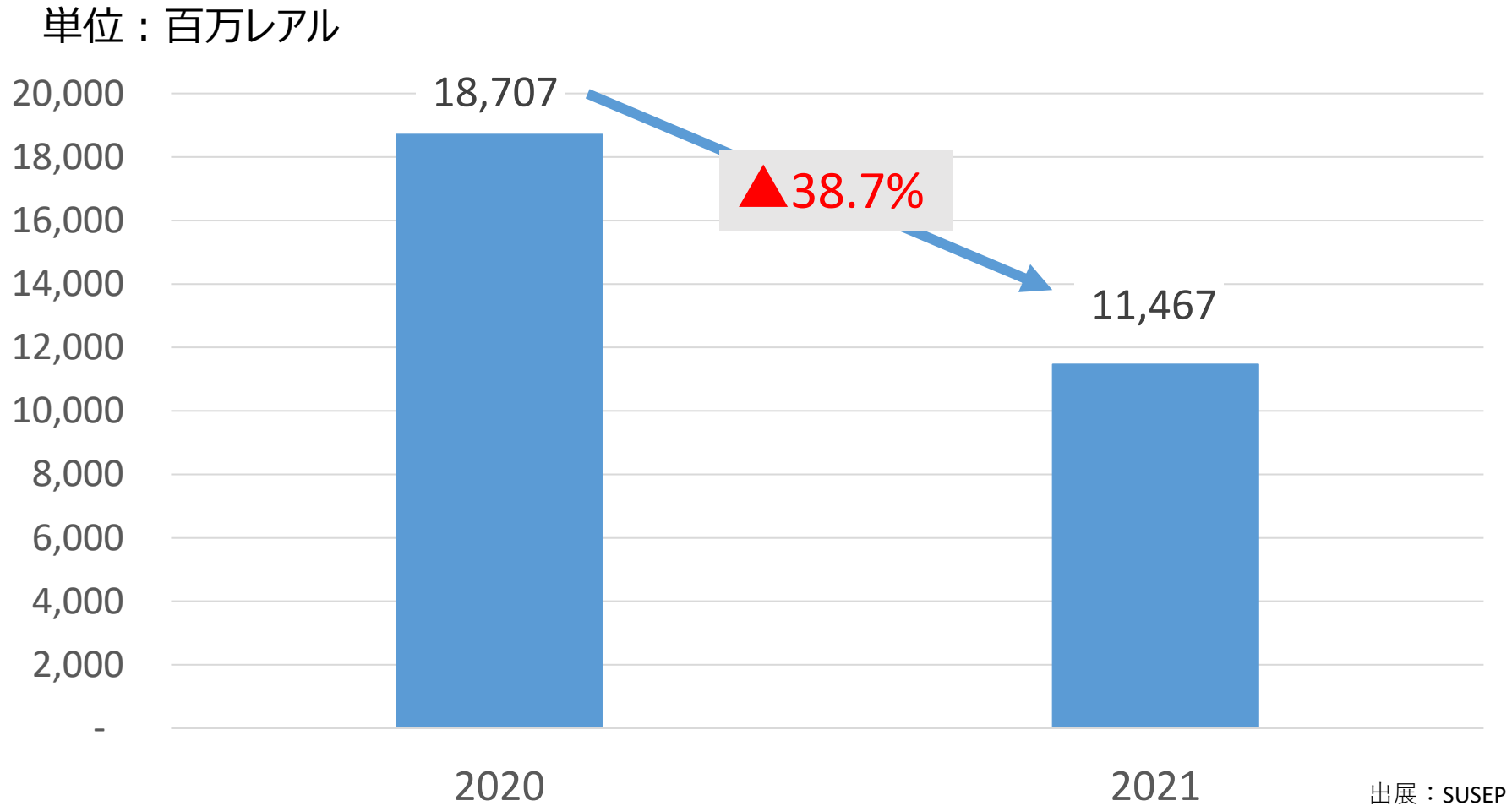


自動車保険および企業向けの火災保険が牽引し、全体では12.1%の増収となった。

	2020年7-12月	2021年7-12月	前年比
自動車	51.9%	64.7%	+12.8pt
火災・新種その他	39.4%	43.8%	+4.4pt
生命・傷害	37.2%	37.1%	-0.1pt
マリン	57.6%	51.2%	-6.4pt
<b>合計</b>	<b>43.7%</b>	<b>48.6%</b>	<b>+4.9pt</b>

出展：SUSEP

- ・前年同期比で損害率は4.8pt悪化した。
- ・自動車保険では、インフレや半導体不足に伴う自動車部品および車両価格の高騰により支払保険金が増加したこと、交通量がコロナ禍以前の水準に回復したことによる事故件数の増加が大きく影響し、前年同期比+12.7ptとなった。



自動車保険を取り巻く環境悪化等を主因に市場全体の利益は前年比▲38.7%となった。



	2022年成長率の見通し	
	悲観	楽観
損害保険 <small>*除くDPVAT</small>	3.1%	12.8%
生命保険 <small>*除く健康保険</small>	2.6%	6.3%
<b>合計</b>	<b>2.7%</b>	<b>9.0%</b>

	悲観	楽観
自動車保険 <small>*除くDPVAT</small>	0.2%	8.8%
火災保険	6.0%	12.4%
住宅ローン火災 + 団体信用生命保険	5.2%	12.3%
農業保険	14.8%	32.2%
その他	▲0.8%	10.9%

・損害保険は2年連続で10%超の成長率が見込まれている。  
 ・特に農業保険分野は高い成長性が見込まれている。  
 ・生命保険に関しては、2021年度はCOVID-19の影響でニーズの高まりが予想され高い成長率が期待されたが、ワクチンの普及により重症化リスクが軽減されたこと等から2022年はニーズの落ち着きが考慮され、低い成長見通しとなっているものと考えられる。

出展：CNseg